

地域活動専門員日誌

地元の園児が「流し雛」を体験しました



附馬牛地区センター 佐々木恵理子さん



地域住民の皆さんの協力をいただき、附馬牛保育園の園児が流し雛を体験しました。昨年12月に開催した「しめ縄作り教室」で作成した、わらで編んだお皿に、園児が折り紙で作ったおひな様などを乗せ、猿ヶ石川に流しました。当日はあいにくの雪模様でしたが、園児たちは元気いっぱいの様子。地域住民の皆さんは、子どもたちがますます元気で、健やかに育つことを願いながら、流れ行くひなを最後まで見送っていました。



1_ 緑峰高の木田深教諭(右)の解説を熱心に聴く参加者 2_ 1羽まるごと燻製器につるし… 3_ 桜のチップで燻すこと約2時間 4_ 絶品の燻製に仕上がりました



農産物の加工を学ぼう！ 就農者向け燻製作り教室

就農者などが農業の基礎を学ぶ「遠野ふるさとめぐりスクール」(市主催)は2月24日・3月4日の2日間、遠野緑峰高校で行われ、参加した延べ24人は鶏肉の燻製作り挑戦しました。

教室では、燻す際に用いる道具の使い方や効果的な燻し方などについて学習。それぞれ下ごしらえしたニワトリの肉を燻製器につるし、桜のチップを使って2時間ほど燻しました。最後は完成した燻製を全員で試食。参加者は、手作りの香ばしい味わいに舌鼓を打っていました。



復興を後押ししよう！

土淵小学校の児童がまごころネットへ寄附



荒川顧問に寄付金を手渡す児童ら

土淵小学校(児童88人)は3月17日、全校児童が協力して募金した約1万6千円を、被災地支援に取り組むNPO法人遠野まごころネットに寄付しました。同校は震災以降、毎月11日を「復興募金の日」と決め、募金活動に取り組んでいます。贈呈式は同校で行なわれ、JRC委員会の児童5人が「みんなで集めたお金を支援に役立ててください」と、同法人の荒川栄悦顧問に寄付金を手渡しました。

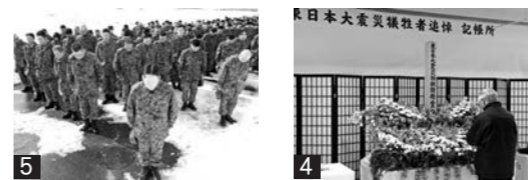


歌や踊りの芸達者が集結 附馬牛町で素人演芸大会

第4回素人演芸大会は3月21日、附馬牛町の遠野早池峰ふるさと学校で開催されました。演芸愛好家ら22組が出演し、股旅やマドロス、カラオケなど多彩な舞台を繰り広げました。

市内外から70人が来場。出演者が熟練の芸を堂々と披露すると、観客から「日本ー！」「アンコール！」などと声援が送られ、会場は熱気に包まれました。佐藤シゲさん(70)＝奥州市＝は「笑いあり涙ありの舞台に、元気をもらいました。次回もまた来ます」と満喫していました。

1_ 多彩な舞台が繰り広げられ、駆け付けた素人演芸ファンは熱い声援を送っていました。写真は素人演芸の定番「股旅」 2_ こちらも定番の「マドロス」。決まっています 3_ 舞踊も披露されました



1・2_ 竹灯籠を囲み、黙とうを捧げる仮設住民ら。夜には、同所でピースキャンドルが灯されました 3_ 美しい音色で仮設住民を癒やす佐々木さんら 4_ とびあには記帳台が設けられました 5_ 陸上自衛隊員の230人は総合運動公園で黙とう



3年の節目に復興を誓う 市内各地で追悼行事開催

仮設住宅・希望の郷「絆」など市内各地で3月11日、東日本大震災の追悼行事が行われました。市内で避難生活を送っている被災者らは、犠牲者の冥福と一日も早い復興を祈りました。

同仮設住宅では、竹灯籠で描いた「灯3.11」を被災者や地域住民ら80人が囲み、午後2時46分のサイレンに合わせ黙とう。また、夜にはピースキャンドルを点灯し、鎮魂の祈りをささげました。このほか、父親が遠野出身であることが縁で、国内外で活躍するジャズフルート奏者の佐々木優花さん＝仙台市出身＝らが、同所などで復興支援コンサートを開催するなど、市内各地で追悼行事が行われました。

学んだ技術で地域に貢献 訓練校の生徒が包丁研ぎ

遠野高等職業訓練校(照井文雄校長)の修了生らは3月17日、福祉施設などの包丁を研ぐ奉仕活動を行いました。

この日は、同校の修了式。学んだ技術を生かして地域貢献をしようと、修了生を中心に全生徒21人が協力して実施しました。社会福祉協議会などで調理に使われている約30本を、大工道具を磨く要領で研磨。修了生3人が遠野健康福祉の里を訪れ、ピカピカに磨き上げた包丁を職員らに手渡しました。木造建築科の前川大輔さん(21)＝立石工務店＝は「現場だけでなく、さまざまな場面で技術を発揮し、地域のために働く大工になりたい」と抱負を語りました。



修了生(前列)らが磨き上げた切れ味抜群の包丁

ひな人形30年ぶりの披露 新里家のひな人形展開催

「新里家のひな人形展」は2月22日から3月23日まで、市立博物館で開催され、期間中延べ3,817人もの方が訪れ、同家に伝わるひな人形に見入りました。平成25年8月、新里滋さん(穀町)は、代々受け継いできたひな人形を活用してほしいと、市に五月人形などを含む972点を寄贈。このうち江戸～昭和時代の、それぞれの特徴が分かるひな人形など241点を展示しました。友人と訪れた是川セツ子さん(綾織町)は「たくさんあって見応えがありました。古いものでも状態がよく、大切に手入れされてきたのが伝わってきました」と感心し、長い歴史に思いを馳せていました。



新里家に伝わるひな人形に見入る人たち